

通学安全リーダー ハンドブック

【安全に通学するための心得^{こころえ}】

- ◎ 交通^{こうつう}ルール・マナーをきちんと守ります。
- ◎ 集^{しゅう}合^{ごう}場所^{ばしょ}や登^{のぼ}下^{くだ}校^{こう}時^じにおいて常^{つね}に危^{きけん}険^{けん}を予^よ測^{そく}し、
下^か級^{きゅう}生^{せい}のお手^て本^{ほん}となる安^{あん}全^{ぜん}な行^{こう}動^{どう}を心^{こころ}がけま^すす。
- ◎ すすんであいさつをしま^すす。
- ◎ 友^{とも}達^{だつ}や下^か級^{きゅう}生^{せい}を思^{おも}いやり、
やさしく接^{せつ}しま^すす。



児^じ童^{どう}の皆^{みな}さんへ

皆^{みな}さんがけがをしたり、命^{いのち}を落^おとしか^かねない交^じ通^こ事^じ故^こ
や犯^{ほん}罪^{ざい}は、いつ、どこで起^おこるか^かわ^わか^かり^りま^ませ^せん。

登^{のぼ}下^{くだ}校^{こう}中^{ちゆう}に交^じ通^こ事^じ故^こや犯^{ほん}罪^{ざい}にあ^あわ^わないた^ため^めに、交^じ通^こル
ールはも^もち^ちろ^ろん、事^じ件^{けん}・事^じ故^こを^を防^ふぐた^ため^めの知^ち識^{しき}や、危^き険^{けん}
を^を予^よ測^{そく}・回^{かい}避^ひする能^{のう}力^{りき}な^などを身^みに付^つけて、安^{あん}全^{ぜん}に通^と学^{がく}で
き^きるよ^ようにしま^まし^しょう。

茨^い城^{ばら}県^{けん}教^{きょう}育^{いく}委^い員^{いん}会^{かい}教^{きょう}育^{いく}長^{ちやう} 小^こ泉^{いずみ} 元^{もと}伸^{のぶ}

学校名

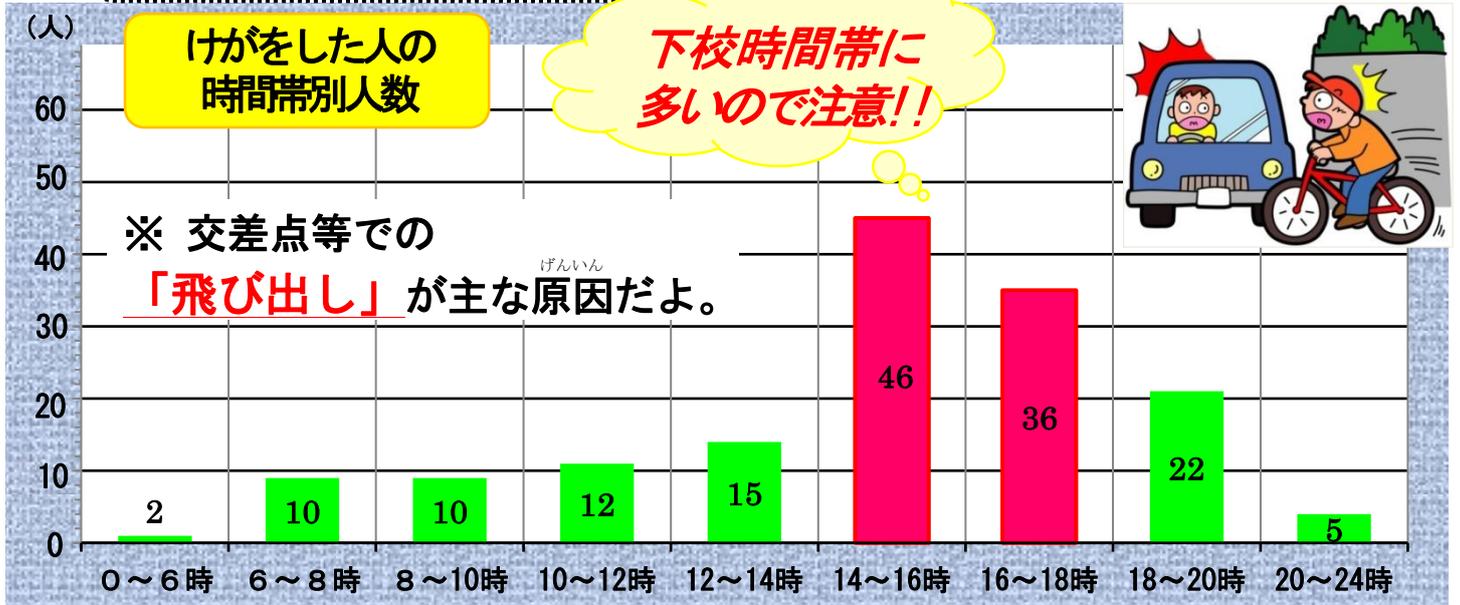
年 組 氏名

小学生の交通事故の特徴

《令和3年中の状況》

- ・ 起こった数 : 190件
- ・ けがをした人 : 158人
- ・ 亡くなった人 : 0人

※ 14時～18時で
半数以上の82人が
けがをしています。



基本的な交通ルール・マナー

◆道路を歩くとき◆

- ・ 道路は歩道がある場合には必ず歩道を歩き、歩道がない場合には右側（右はし）を歩く。
- ・ 飛び出しは、絶対にしない。
- ・ ふざけたり、遊びながら歩かない。

◆道路を横断するとき◆

- ・ 見通しの悪い場所では、いったん止まって、右左の安全を確かめる。
- ・ 信号機がある場所では、信号が青になっても右左の安全を確かめて、周囲の状況に注意をしながら横断する。
- ・ 信号が変わりそうなときは、無理にわたらず、次に変わるのを待つ。
- ・ 信号機がない場所では、車が来ないかどうかをよく確かめてから横断する。（ななめに横断しない。）
- ・ 交差点では、曲がってくる車に注意しながら横断する。

交通事故防止のための「5つのポイント」

1 止まる

信号機のある・なしにかかわらず、横断するときは、必ず止まる。

2 見る

周りが安全かどうか、自分の目できっかりと見る。

3 確かめる

安全に通行できるかどうか、もう一度、よく確かめる。

4 待つ

通行する車や自転車があるときは、通り過ぎるのを待つ。

5 もしかして

車や自転車が来るかもしれない…と、事前に危険を予測する。

【交通安全に関する留意点】

《通学時》

- 登校班がある場合は、**集合時刻**をきちんと守り、
欠席するときは、同じ班の人に**必ず連絡**しましょう。
また、登校するときは、きちんと**一列に並んで**歩きましょう。
- 車などの動きに十分注意して、**慎重な行動**を心がけましょう。



《雨の日》

- 雨の日は**視界が悪く**、**安全確認が不十分**になりがちです。早めに家を出るなど、
時間に**ゆとり**をもって行動し、**無理な横断**や**飛び出し**は絶対しないようにしましょう。
- かさやレインコートは、黄色など**明るく目立つ色**のものを使いま
しょう。
- かさを使う場合には、**前をよく見ながら**歩くとともに、**通行する自転車にぶつ
からないように**十分注意しましょう。



《夕方や夜間》

- 夕方や夜間は、**屋間に比べて視界が悪く**、周りの様子がわかりにくくなることか
ら、**交通事故の危険性も高**くなります。車の運転手から見えやすいように**白っぽい
目立つ服装**を心がけ、**反射材**を身に付けるようにしましょう。自転車に乗る際には
必ずライトを点灯しましょう。

《冬期》

- 寒い日の朝や雪が降った日は、**道路が凍って滑りやす**くなります。いつもより**気
をつけて歩き**、**転ばないように**十分注意しましょう。

《踏切》

- 踏切では、**手前で必ず止まり**ましょう。また、**警報機が鳴り始めてか
らは**、踏切内に**絶対に立ち入らない**ようにしましょう。**警報機**や**遮断機**のない踏切
では、**一度止まり**、**右左を見て**、電車が来ていないか十分に**確認**してから渡りまし
ょう。



《自転車》

- 自転車は“**車の仲間**”です。**交通ルールを守り**、**ヘルメットを着用**して安全に乗
りましょう。

※ **定期的**に**点検・整備**を
行いましょう。

— **自転車事故に備えて保険に加入**しましょう —

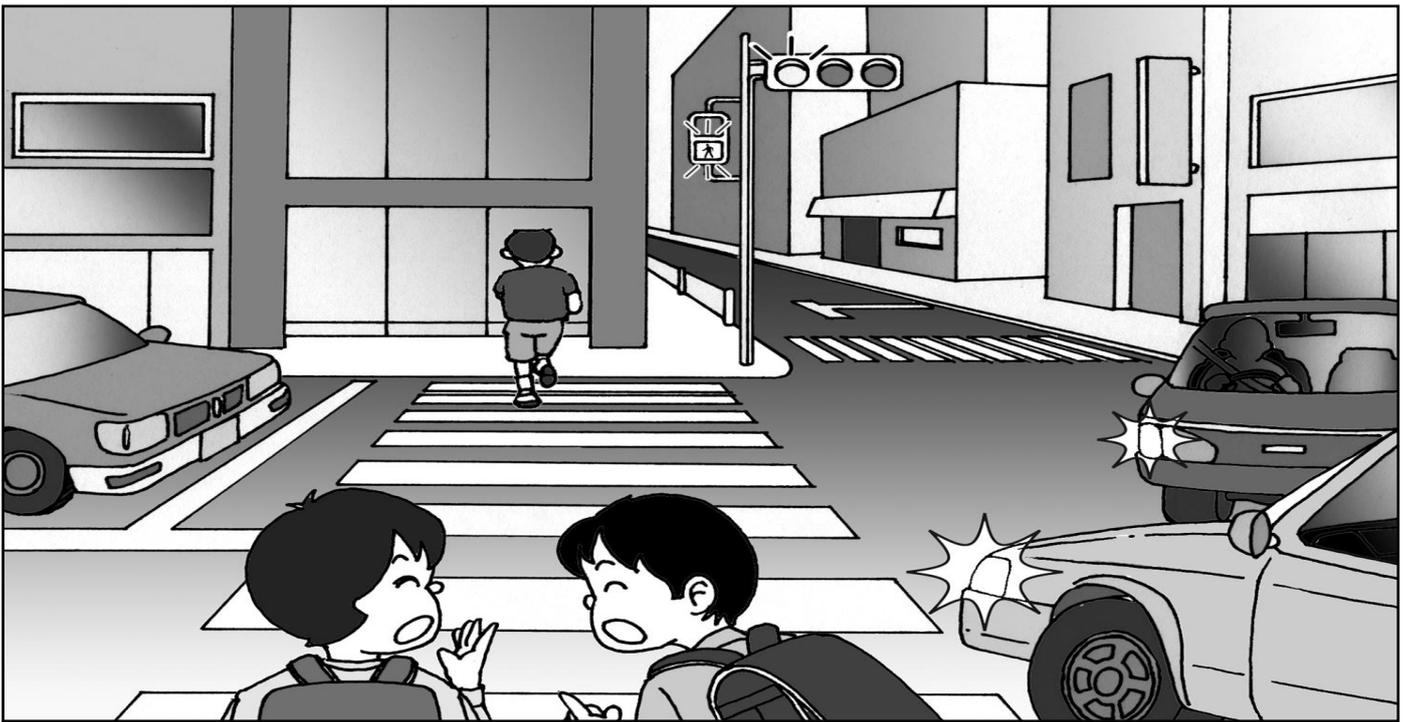
自転車の事故では、自分がけがをするだけでなく、相
手にけがをさせたり、物を壊したりすることがありま
す。これらの場合に**備え**、**保険**に加入しておきましょう。

※危険予測では、場面の様子や状況をよくとらえ、目に見えている危険ばかりでなく、目に見えない危険を予測することが重要です。

☆ どんなどころに危険がひそんでいるか、考えてみよう。

《ケース① 信号機のある交差点》

信号機のある交差点で、信号が青に変わり、横断歩道を渡ろうとしています。



(資料：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会)

● どのような危険が予測できますか…？

● その危険をさけるには、どうしたらよいでしょうか…？

☆ どん^{きけん}なところに危険がひそんでいるか、考えてみよう。

《ケース② 歩道を自転車^{つうこう}で通行するとき》

ようじ 幼児を連れてお母さんとお年寄り^{としよ}がいる「自転車^{じてんしゃ}通行可^{つうこうか}」の歩道を走行しています。



※ 歩いている人の気持ちも考えてみよう。 (資料：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会)

● どのような危険^{きけん}が予測^{よそく}できますか…？

● その危険^{きけん}をさけるには、どうしたらよいでしょうか…？

☆ 動画を見て、どんな危険があるか予測してみよう。

《ケース③ 公園前の横断歩道》



クリックすると動画を見ることができるよ！

● どのような危険が予測できますか…？

● その危険をさけるには、どうしたらよいでしょうか…？

《ケース④ 住宅街の自転車》



クリックすると動画を見ることができるよ！

● どのような危険が予測できますか…？

● その危険をさけるには、どうしたらよいでしょうか…？

こんなときどうする…?!

○ 不審な人にあつた・目撃した!!

不審な人の声かけ (例)

- おもちゃやお金などで誘う。
- 子供の興味のあることで誘う。
「子イヌが生まれたから見に来て…」など
- 困っている人のふりをする。
「重い荷物を運ぶので手伝って…」など
- 知り合いのふりをする。
「お母さんが交通事故にあつたから、一緒に病院へ来て…」など
- その他、変な頼みごとをする。

※ これらに限らず、あの手この手で声をかけてくるので、「こんなときどうする…?!」といったことを友達などと話し合っておこう。

学校や家などの
緊急時の連絡先

または
110番へ

※ 次のことをできるだけ正確に伝えましょう。

- ① 学校名や学年、氏名
- ② いつ、どこで起こつたか?
- ③ 犯人を見たか?
(人相、着ている服の色、車の色やナンバーなど)
- ④ 現場はどうなっているか?
(けが人や被害の状況など)



不審な人にあつてしまったら…?!

【主な対処方法】(例)

- カバンをつかまれたら…
捨てる逃げる (ダッシュする)。
- 声をかけられたり、車の中から道を聞かれたりしたら…
つかまれないように、連れ込まれないように、できるだけ離れる。

《いざというときに逃げ込める場所》



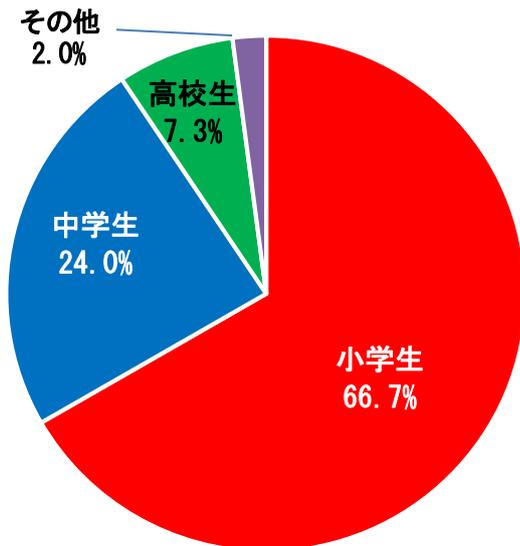
防犯の合言葉

～いかにあすし～

い 行かない
か 乗らない
の 大声を出す
あ すぐに逃げる
す 知らせる
し



令和2年度中に不審者にあったのは？



小学生は、声をかけられたり、つきまとわれたりする被害が多いよ。
最近では、スマートフォンで写真を撮られるという被害が増えているので気を付けよ



小学生が不審な人にあった時間帯



下校時間帯に多いので注意が必要だね！



不審な人にあわないようにするために

- 登下校では必ず決められた通学路を通るようにしましょう。
- 車道からなるべく離れて歩くようにし、通る車には十分注意しましょう。
- 路上駐車している車には近づかないようにしましょう。
- 同じ方面の友達と一緒に下校し、できるだけ一人にならないように心がけましょう。
- 一人になってしまう場合には、時々後ろを振り返るなど、周りの様子に気を付けるようにしましょう。
- マンションなどでエレベーターを利用する場合には、知らない人が一緒にいたら先に乗ってもらい、後で乗るように伝えましょう。
- 防犯ブザーはランドセルのすぐ手が届く場所につけるようにしましょう。

◎ 家の周りや通学路の様子を調べて書いてみよう!!

※ 危険な場所 (例)

- 道路がせまい、見通しが悪い
- 車 (大型車) が多く通る
- 人通りが少ない
- 公園や空き地で木が茂っているなど、周りから見えにくい

タブレットを使って安全マップを作ろう！

【広げよう】～ みんなでつくる安全マップ～ (セーフティマップの活用)



クリック！
基本編

※ セーフティマップでは、車がよく急ブレーキをかける地点や事故が多く起きているところを写真で見ることができます。

また、みんなが作った「通学路安全マップ」に書き込んだ情報やみんなが危ないと思っている地点等を追加することで、学校全体の「通学路安全マップ」へと広げることができます。



① マップのマークを覚えよう。

② マークされているところの情報をみよう。



急ブレーキの多い地点



事故が多いエリア



みんなが危ないと思っている地点

- マークにマウスを重ねると、その地点の写真やどんな事故が多いかがわかります。
- マークをクリックすると、その地点のくわしい情報を見ることができます。



応用編

③ 情報を追加する。

- 画面右の“地点検索”をクリックし、自宅や学校付近の位置（「〇〇市△△町」）と入力して検索すると、その付近の地図が表示されます。
- 地図をもとに、危険な場所をクリックすると、その地点にマークと写真が表示され、情報を書き込むことができます。
- みんなが危ないと思っている地点に、意見を書き込むことができます。

みんなの意見
危ないと感じたことがある人は「そう思う」をクリック

道路が狭い/歩道がない	そう思う	7人
異音が多い	そう思う	3人
スピードが出ているクルマが多い	そう思う	1人
歩行者/自転車の飛出しが多い	そう思う	0人

例:カーブがきつい 追加する

※30字以内
具体的に現象のうえ説明してください
個人や特定団体への誹謗中傷など不適切な投稿は削除されます

危ないと感じた具体的な理由

例:電柱がせり出していて見通し悪い 追加する

※30字以内
具体的に現象のうえ説明してください
個人や特定団体への誹謗中傷など不適切な投稿は削除されます



※ 「セーフティアクション」では、安全への活動や交通安全の情報などを紹介しているよ。

～保護者の皆さまへ～

子供たちが、より安全に、適切に行動できる力を育むためには、**保護者**の**皆さまの協力は不可欠**です。ご家庭におかれましても、次のことについて日ごろから指導・声かけをお願いします。

- 自宅付近の交通状況や危険箇所の状況に応じ、通学路を一緒に歩いたり、自転車に乗るなどして、子供と同じ目線に立った指導をお願いします。
- 登校時に余裕をもって送り出したり、外出時には行き先を告げ、暗くなる前に帰宅を促すなど、よい習慣づくりへの声かけをお願いします。
- 自転車に乗せるときは、ヘルメットを着用させ、定期的な点検・整備をお願いします。
- 自転車は被害者にも加害者にもなることから、各ご家庭でお子さんに対しての損害賠償責任保険への加入をお願いします。

(令和元年6月に茨城県交通安全条例が一部改正され、自転車保険加入の条文が追加されました。)

- ・ お子様が発車を利用する場合、自転車保険への加入に努めなければなりません。
- ・ お子様に対して、交通事故の防止及び自転車の安全な利用について必要な指導を行うよう努めなければなりません。

【自転車安全利用五則】

1 自転車は車道が原則、歩道は例外

※ ただし、13歳未満の子供が発車を運転している時は、歩道を通行することができます。歩く人に気を付けて運転しましょう。

2 車道は左側を通行

・ 自転車は、道路の左側に寄って通行しなければなりません。

3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

・ 歩道では、いつでも止まれるスピードで運転しましょう。

4 安全ルールを守る

・ 二人乗りの禁止 ・ 並進の禁止 ・ 夜間はライトを点灯 ・ 信号を守る
・ 交差点での一時停止と安全確認

5 子供はヘルメットを着用

・ 児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるようにしましょう。

自転車は「くるま」の仲間であり、自転車利用者は車両の運転者であることへの指導、声かけをお願いします。

— 緊急時の連絡先 —



()



()



()

— ハンドブックに関する問い合わせ先 —

茨城県教育庁学校教育部保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当

〒310-8588 水戸市笠原町978番6 TEL 029-301-5349 (直通) FAX 029-301-5369

